

熱中症対策

①作業員がいつでも水分補給できるように、ウォータークーラー・冷水ショーケース・塩飴を設置。冷水ショーケースにはスポーツドリンクを常備し、自由飲水できるようにしている。

また、ショーケース内には経口補水液「OS-1」を常備し、緊急対応出来るようにしている。



②ウォータークーラー・冷水ショーケースから遠く水分補給しづらいR階、33階には常時ジャグを設置し、スポーツドリンクを自由飲水できるようにしている。



③熱中症パトロール

最上階や外溝部等直射日光を受けやすい場所や、部屋内等こまめに水分補給をしづらい作業員を中心に、竹中職員がスポーツドリンクを15リットル入る手動噴霧器に補填し、定時休憩後10時半頃、定時休憩後午後2時頃に一日2回、作業所内を巡回し作業員一人一人に配布。



④製氷機を設置し、熱中症患者が出た場合に早急に対応できるようにしている。



⑤作業員用詰所

作業員の疲労回復のため、休憩時横になり疲れを取れるように、畳・扇風機を全詰所に設置。



⑥熱中症にかかった場合の対処として、熱中症予防対策責任者を立て、対処の仕方を各詰所に掲示。全作業員が緊急時に対応できるようにしている。

